

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人紫雲会 放課後等デイサービスほっけ		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 18日		～ R7年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 18日		～ R7年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の皆様との顔の見える関係性作り	送迎時に必ず子ども達の様子(良いところ)や、ご家庭、学校での様子を共有し、共通理解が出来るように心掛けています。また、子ども達だけでなく保護者の皆様のサポートが出来るように心掛けています。	引き続き、懇切丁寧な対応ができるよう職員一丸となって、子ども達や保護者の皆様のお力に慣れるよう心掛けていきたいと思ひます。
2	情報発信	毎月新聞を発行し、子ども達の様子を写真でお知らせするだけではなく、事業所がその時に重点を置いていること、活動内容の意図などを文章でお伝えするように心掛けています。	紙だけではなく、いつでもどこでも何度でも手軽に閲覧できるHPについても、お知らせしていきたいと思ひています。
3	個々の対応	子ども達ひとりひとりの自動思考や特性、今興味を持っている事を理解するため、コミュニケーションをとり、関係性を深めるよう心掛けており、同じ事柄が起こった際にも個々にあった言葉かけを行うようにしています。	引き続き、コミュニケーションを通して関係性を深め、より信頼関係が結べるよう努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境や、人員	当事業所は、園庭もなく建物自体も成人用施設を改修した為、子ども達にとって使いづらい面があると考えられる。人員については基準は満たしているが、子ども達にとって重要な時期に関わりを持っている為、職員の急病等に対応できる様、人員の増員が必要だと考えていますが、現実的に人員の補充は難しい。	今ある環境で、ルールを作りを行い、危険のないように、見守り、支援を行って行く。また、よりよい支援を長期的に行っていく為に、これまで以上に有資格者の人員補充を先を見越して働きかけていく必要がある。
2	交流の場	計画は立てており、事業所とも打ち合わせを行っていたが、感染症対策等を考慮した結果、実施出来なかった。	安全に交流が出来る方法を検討していく。
3	非常時等の対応	マニュアルについては契約時に必ず一つずつ説明を行っているが、その後の周知が足りなかった。避難訓練に関しては、定期的に行っており、提供表や送迎時にお伝えはしていたが、周知されていなかった。	不安なくご利用していただけるように、引き続き周知していく。